

平成 20 年「宇宙の日」記念行事の実施状況について

平成 20 年 10 月 1 日
研究開発局参事官
(宇宙航空政策担当)付

平成 20 年「宇宙の日」記念行事として行われた、「宇宙の日」ふれあいフェスティバル 2008 及び 全国小・中学生作文絵画コンテスト等の実施状況は、以下のとおり。

1. 「宇宙の日」ふれあいフェスティバル 2008

「宇宙の日」を記念するためのメインイベントとして、徳島県阿南市において「宇宙の日」ふれあいフェスティバル 2008 を開催した。

(1) 概要

- ・ 主催：文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団
- ・ 共催：阿南市、阿南市教育委員会、阿南市科学センター、阿南市情報文化センター
- ・ 期間：平成 20 年 9 月 13 日(土)～14 日(日)9:30～16:00
- ・ 場所：阿南市科学センター、阿南市情報文化センターコスモホール
- ・ 入場者数：1,990 名

(2) プログラム

水ロケットの工作や実験、ビデオ上映などのプログラムイベント、若田光一宇宙飛行士が出演する「スペーストークショー」など、宇宙に関する様々な体験イベントを実施。

2. 全国小・中学生作文絵画コンテスト

全国の科学館・博物館(82 館)の協力を得て、「宇宙でしたい あんなことこんなこと」をテーマとして、作文・絵画コンテストを実施し、文部科学大臣賞をはじめとした主催者賞、宇宙開発担当大臣賞、審査委員長特別賞(絵画の部中学生部門)及び各科学館・博物館賞の受賞者を決定した。

(1) 概要

- ・ 主催：文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団、協力科学館・博物館等
- ・ 募集期間：平成 20 年 4 月 14 日(月)～7 月 31 日(木)
- ・ 参加対象：全国の小・中学校に在籍している児童・生徒
- ・ 応募先：全国の協力科学館・博物館等及び「宇宙の日」事務局
- ・ 最終審査：絵画：平成 20 年 8 月 25 日(月)
作文：平成 20 年 9 月 4 日(木)
(創造・想像力、表現力、技術力、知識力を基準として、外部有識者及び各主催者の代表による審査を実施)
- ・ 表彰式：平成 20 年 10 月 4 日(土)2008 年国際航空宇宙展会場内特設ステージ(パシフィコ横浜展示ホール内)
文部科学大臣省受賞者には、地球儀及びプラネタリウム

セットを贈呈。その他、各主催者賞、宇宙開発担当大臣賞、審査委員長特別賞を計 33 名に付与。

(2) 応募数

- ・ 作文の部 小学生部門 1,653(1,191)
 中学生部門 1,020(1,649)
- ・ 絵画の部 小学生部門 17,306(15,948)
 中学生部門 1,408(1,379)
- ・ 総応募数 21,387(20,167)

括弧内は昨年度の応募数。

3. ふれあい宇宙展 2008

以下の期間・場所で、「全国小・中学生作文絵画コンテスト」の受賞作品等を展示する「ふれあい宇宙展 2008」を実施している。

- ・ 9月13日～5日:「宇宙の日」ふれあいフェスティバル会場
(徳島県阿南市科学センター)
- ・ 10月1日～5日:2008年国際航空宇宙展会場
(パシフィコ横浜)
- ・ 11月1日～28日:宇宙航空研究開発機構東京事務所情報スペース「JAXA i」
- ・ 12月2日～26日:文部科学省情報ひろばラウンジ

以上